



和歌山市立宮北小学校  
学校だより 令和7年11月号



## 全力でがんばった運動会 ～倍、倍倍、倍々倍ファイト～ (10/11)

運動会当日 10/11(土)は小雨が降ったり晴れたり曇ったり…お天気の変化を心配しつつも無事に全種目を予定通り行うことができました。初めて小学校の運動会を経験した1年生は元気いっぱい楽しそうに演技や競技をしてしましたね。2年生は1年生のよいお手本となっている様子に大きな成長を感じました。3年生は中学年になって初めてのリレー等、仲間と力を合わせる楽しさを味わっているのが素敵で、4年生ははじけるダンスと元気な声でパツと明るく場を盛り上げてくれました。5年生は、高学年としての自覚をもち、演技や競技への気合いが光っていました。そして6年生。運動会でのそれぞれの役割を果たし、本番に最高のパフォーマンスを発揮している姿が小学校最後にふさわしく、見ていてうれしかったです。どの子も全力でがんばっていることが見る人にしっかり伝わる運動会で、いろんな方から「いい運動会でしたね」「感動しました」等の言葉をいただきました。これらの姿は全校のみんなの力によるものですが、毎年運動会でみんなの思いが一つになる素晴らしさは「宮北小学校の伝統」だだと思います😊。これからも大切に守り、つないでいきたいですね。

保護者の皆様、地域の皆様、あたたかいご声援をいただき、ありがとうございました。また、最後の後片付けまでお手伝いいただき、ご協力にお礼申し上げます。

学校長 西井 恵美子



令和7年度 宮北小学校運動会



25日から29日は学校開放週間です

## 「科学コミュニケーション」を知っていますか？



「科学コミュニケーション」とは、科学者が科学の持つ疑問、驚き、感動といった本質的なおもしろさを伝え、人々の科学への関心を高めることを目的とするものです。専門家が複雑な科学の内容を分かりやすく伝えることにより理解を深め、同時に、それを体験する人々から生まれた多様な意見等を研究に生かすというように、科学と社会の望ましい関係について共に考える活動です。

生活科、理科を学校研究としている宮北小学校の子供たちに、この「科学コミュニケーション」を体験してほしいなと思っていたところ、その願いが11月28日に実現します！

## 加納 圭先生による「科学コミュニケーション特別授業」開催！

11月28日(金) 13:00～14:30 体育館



### 加納 圭(かのう けい)先生のプロフィール

滋賀大学教育学部教授。専門は科学コミュニケーション。オーストラリア国立大学客員研究員でもあり、海外でも活躍されています。前職は京都大学物質－細胞統合システム拠点(WPI-iCeMS)科学コミュニケーショングループ特任准教授です。子ども、成人向けの幅広い科学コミュニケーション活動、若手研究者向けの対話トレーニングプログラム開発、政策のための科学などに携われ、文部科学大臣表彰・科学技術賞(理解増進部門)を2014年、2017年の2度受賞されています。



NHK理科・科学番組の「考えるカラス～科学の考え方」、「カガクノミカタ」をみたことがありますか？科学が身近に感じられる面白い内容です。加納先生はこれらの番組委員を務められました。今回、この番組の中にある実験を中心とした特別授業を全校向けにさせていただきます！！学校開放週間中なので、保護者の皆様もよろしければ「科学コミュニケーション」授業の様子をご参観ください♡。

## 29日(土)は「ふれあいの集い」「ワークショップ」「教育講演会」

29日(土)の日程(12:00下校 給食なし)

- 8:35～ 9:30 「ふれあいの集い」(体育館)
- 9:40～11:00 ワークショップ(各教室)
- 11:00～12:00 教育講演会『子育てを楽しもう～人権の視点から～』(視聴覚室)

素敵な講演です！お時間の許す限り教育講演会にもご参加ください。

和歌山市教育委員会 客員指導主事 犬塚博志先生

